

歩いた時の足の痛みは整形外科？ 血管外科？

少し歩くと足が張って痛くなり歩けなくなります。病院でどこの科にかかったらよいでしょうか？

A 少し歩くと足がだるくなって休まなくてはならない。少し休むと、また歩けるようになる症状を間歇性跛行と呼びます。原因は大きく2つに分類されます。血管（動脈）が詰まったことによるものと、背骨の中を通る神経の圧迫によるものです。前者の場合は主に血管外科、後者の場合は整形外科が担当となります。

症状からだけでは、どちらの原因によるものかは区別がつきにく

在、多くなっている病気で

足の血管だけでなく、心臓の血管・頭の血管など、全身の血管に病気が認められる場合が多いので、注意が必要です。また糖尿病の人にも多く現れます。閉塞性血栓性血管炎（バージャー病）というタバコに強く関連した病気もありますが、最近では減少傾向にあります。

整形外科疾患では背骨、腰骨の中の神経が通る道が狭くなり、中の神経を圧迫する病気（脊椎管狭窄症）が主です。これも初期は神経自体の圧迫症状ではなく、神経を栄養している血管の圧迫による神経の血流障害が原因だと考えられています。

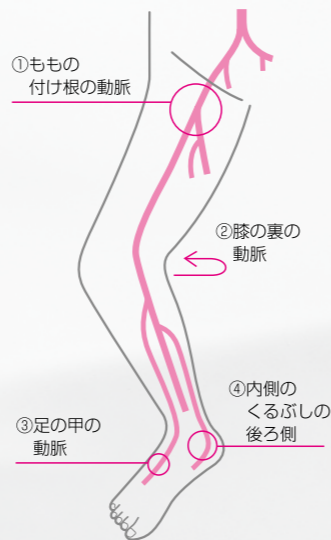
血管が詰まっているかどうかどうやって検査するのですか？

A 足の動脈は、①ももの付け根、②膝の裏側、③足の甲、④内側のくるぶしの後ろ側の4か所で脈としてふれます。コツをつかめばご自身でも確認できます。③④で脈がふれていれば、血流状態はまず良いと言えます。血管外科を受診された時も、まずそこを触って確認します。

次に手足の血圧を同時にしか

いですが、ある程度特徴はあります。血管による場合は、いつも同じ距離を歩くと、ふくらはぎが張って症状が出現しますが、休む体位とは関係なく、少し経つとまた歩けます。一方、整形外科疾患では、股関節から大腿部、下腿部の特に外側の痛みとして起こることが多く、前かがみで休むと症状が軽くなる場合が多くみられます。症状が出る距離が一定していないことや、腰を後ろへそらせると、歩かなくても症状が悪化することがあります。

一般的には、足の症状ということで、整形外科を受診される方が多いです。実際、両方とも原因がある場合もあり、血管の原因が



■足で触れる4ヶ所の動脈

る検査(ABI)を行い、足の血圧が、手に比べて下がっていないか確認します。通常、足のほうが手に比べて1割ほど高く出ます。

これらに異状が見られれば、血管造影(最近ではCTによる血管造影)やエコー検査で血管の詰まった場所を確定します。その結果をみて、お薬と運動の治療、カテーテルによる治療、手術によるバイパス術など、病状に応じた治療を行います。

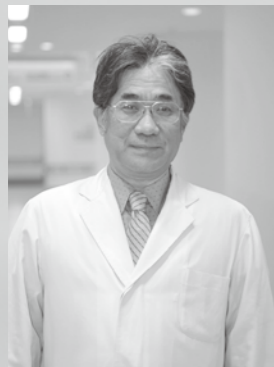
間歇性跛行の原因が整形外科的なのか、血管外科的なのか、専門医でも区別がつきにくい場合もあります。長年、整形外科のリハビリに通っていて、血管が原因と分かり、手術で嘘のように治った方も見えます。ご質問のような症状がありましたら、一度 血管の専門医を受診されることをお勧めします。

見過ごされたまま、リハビリなどに通われている場合もあります。お尋ねのような症状があった場合、まずは血管外科、あるいは循環器内科を受診されて、血管に異常がないか診察してもらおうのがよいのではないかと思います。

どうしてこんな症状が出るのですか？

A 運動時は、安静時に比べ筋肉は酸素も栄養も多く必要とします。血液が詰まっていると、安静時には組織をまかなえていた血液量が、運動時では足りなくなり、筋肉が疲れて症状がでるのです。主な原因となる病気は閉塞性動脈硬化症で、食生活の欧米化に起因し、現

今月の先生



岐阜市民病院 胸部・心血管外科

村川眞司 先生

○専門分野
成人心臓疾患、大動脈疾患、ステントグラフト手術、末梢血管疾患、肺癌手術(胸腔鏡手術および合併切除伴う進行癌手術)

○役職
診療局長(外科系部門)
胸部・心血管外科部長

○主な資格、認定
外科専門医・指導医

心血管外科専門医
呼吸器外科専門医
岐阜大学高度先進外科学臨床准教授
診療情報管理士

○卒業年、主な職歴
昭和57年岐阜大学医学部卒
岐阜大学医学部附属病院(講師)
養老中央病院
平成4~6年 ドイツ・ギーゼン大学心血管外科留学(手術研修)